

生薬について



宮崎大学漢方医学研究会

1. 中薬学総論



2. 方剤学総論

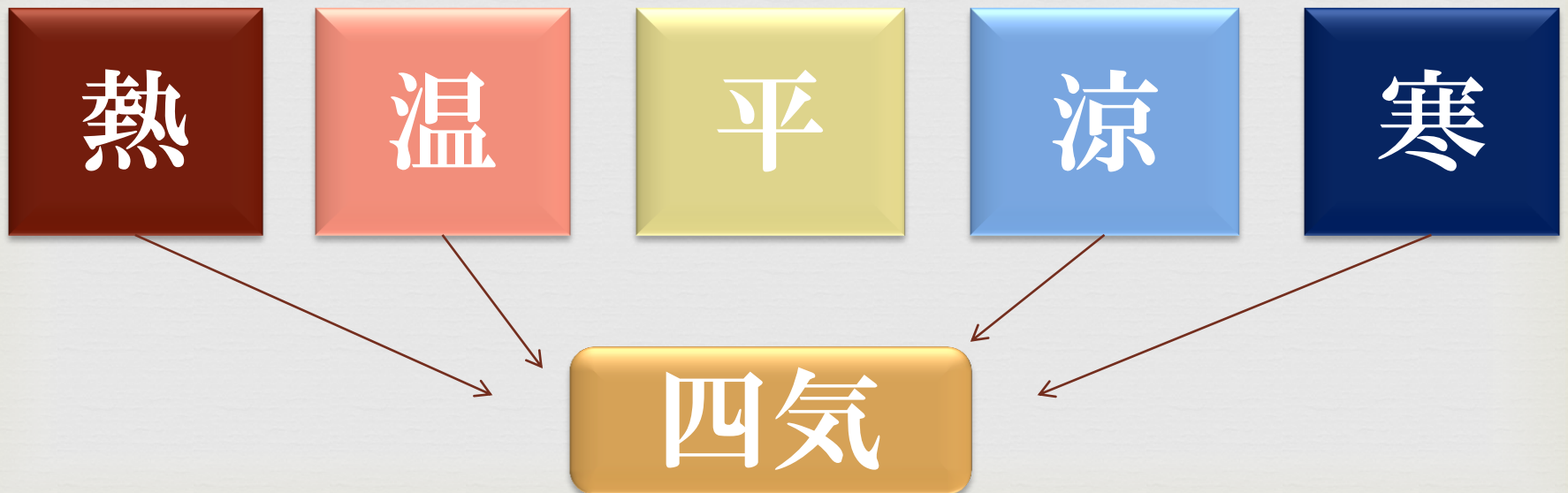
中薬学総論



①薬性（四気）



その薬が体内で**温める**方に働くか、**冷やす**方に働くかのバロメーター。



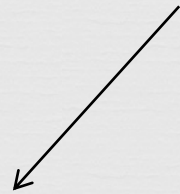
②薬味（五味）



その薬の味であるとともに、基本的
に人体でどのように働くかを示すバ
ロメーター。

辛・苦・甘・酸・^{かん}鹹

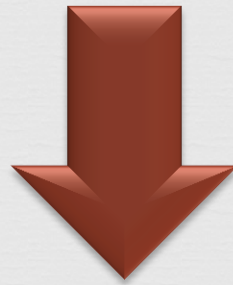
桂枝：温・辛（甘）



温通経脈

解表作用

補う作用



陽を補う

③帰経

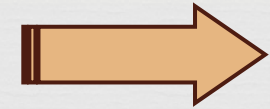


どの経路・臓腑に主に働くかを
示す指標。

※経路or臓腑？

まおう
麻黄

● 辛 ・ 温

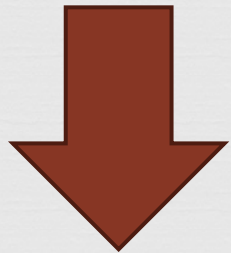


せいさん
宣散作用

解表作用

風寒邪

太陽膀胱經



○麻黄→膀胱經

×麻黄→膀胱

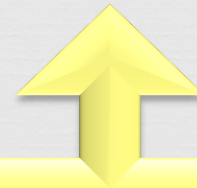
方剂学総論



病態



方劑



生薬を組み合わせる

君臣佐使

①君薬（主薬）

メインの病態に対して最もメインに働く生薬

②臣薬（輔薬）

君薬が病態に働きやすいようにバックアップする生薬、副次的な病態に対して対応する生薬

③佐薬

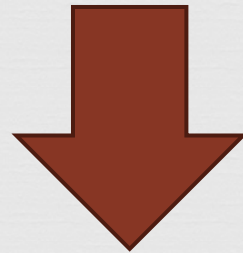
君薬、臣薬と違った
働きの性質などで君薬・臣薬を副次的
に補佐する生薬

④使薬

全体を調和させたり、ある方向性に導
く薬（引経薬:ある経絡に他の薬の薬効
を導く）

麻黄湯

- 君薬：麻黄
- 臣薬：桂枝
- 佐薬：杏仁（きょうにん）
- 使薬：炙甘草（しゃかんそう）



風寒表証

薬対法則



生薬同士の相性の良い組み合わせ。

Ex. 麻黄・桂枝 / 麻黄・杏仁